

金木観光物産館の愛称は「産直メロス」に決定！



令和4年4月、斜陽館向かいの金木観光物産館（旧マディニー）は、農産物直売所へ生まれ変わり、リニューアルオープンします。これに伴い、新しく生まれ変わる施設の愛称を募集したところ、多数の応募が寄せられ、選考の結果「産直メロス」に決定しました。たくさんのご応募、ありがとうございました！

【自慢の農産物等を出品しませんか？】

皆さんが丹精込めて作った自慢の農産物等を出品してみませんか？

市では、金木交流プラザ（津軽鉄道金木駅）2階に観光物産課職員が駐在する出荷者相談窓口を設け、リニューアルオープンに向けて準備を進めています。

出品がはじめての方でもサポートしますので、ぜひお申し込みください。

申し込みは、随時受け付けています。詳しくは、お問い合わせいただくか、市ホームページ（右QRコード）をご覧ください。



山菜があるけど、出品できるのかな？

旬を味わえる山菜、大歓迎だよ！



問い合わせ・申込先

- ▷金木観光物産館出荷者相談窓口
（運営時間 平日9:30～16:00）
- ▷観光物産課 内線2574

道の駅十三湖高原～テイクアウトスペシャル vol.2～が行われました



牛丼を配布する市長

10月3日、道の駅十三湖高原トーサムグリーンパークで「道の駅十三湖高原～テイクアウトスペシャルvol.2～」が行われました。市浦特産のブランド牛「市浦牛」を使用した牛丼（限定500食）と牛すじカレー（限定300食）などを販売し、合計800食が完売となりました。

牛丼の具材は肉と玉ねぎのシンプルな組み合わせで、黒毛和種の市浦牛の旨味を味わうことができ、カレー

は牛すじを柔らかくなるまで煮込んでいるため口にいれるとホロホロと崩れ、スパイスの効いたルーが肉の旨味とマッチしプレミアム感のある味わいとなっています。

牛丼とカレーを購入した中泊町の鈴木さんは「市浦牛を使った料理を食べるのは初めて。牛丼もカレーも肉の旨味が濃かった。高原まつりを満喫したので来年も来たいと思う」と話しました。



スパイスの効いた市浦牛すじカレー

今月号の表紙

【新作大型立佞武多「暫」出陣】

10月9日、五所川原立佞武多運営委員会は、コロナ禍で我慢が続いている市民の皆さんに明るい希望や活力を少しでも感じていただくため、「五所川原立佞武多 秋の陣」を開催しました。

旧ロータリーには、新作大型立佞武多「暫」と世代を問わず人気のゲーム「桃太郎電鉄（桃鉄）」を題材にした立佞武多が展示され、囃子方の演奏で祭りを盛り上げました。

「暫」を制作した鶴谷昭法技能技師は「思っていたより、お客さんが来てくれたので、お披露目でうれしい」、桃鉄立佞武多を制作したねぶた表現師・忠汰（本名・齊藤忠大）さんは「題材を忠実に再現した。大丸東京店に展示して立佞武多をPRすることができたので、地元への恩返しになったのでは」と笑顔で話しました。

*表紙・裏表紙に「暫」の写真あり